

父の思い出

長谷 聖一郎

父は、大阪市内で、家具店を営んでいました。生涯、商人生活。

旧住吉中学の出身で、自分は子供の時から、そこへ進学するつもりでいましたが、戦後の移住と学区制で、高津に進学した次第です。

そして、12年後に妹（高津卒）が生まれるまでは、一人息子で、大事に育てられ、小2の時に、日光中禅寺湖に連れてもらい、初めて西洋人（ドイツ人）を見たものです。

ジフテリアに感染した時には、白浜温泉に母と静養逗留も。また、戦中にも、お米持参で、出雲大社にも。そして、疎開では、徳島に移住し、父は、商売があるので、大阪から通って来ていました。

終戦後、心齋橋筋に店を出し、大いに儲けていた時に、糸へんに手を出し、大失敗、家を売っての後始末。しかし、自分は、私大に行かせて貰い、今の自分が。

後年、横浜の自宅に招き、孫たちとも。鎌倉・箱根に遊んで貰い初めての親孝行を。

今は、墓を奈良から横浜に移し、このホームの仏壇に眠っています。

以上

